ADVERTISEMENT 広告

国のMICE支援はより戦略的にチームジャパンで誘致体制を構築

世界的なMICE誘致競争が激化する中、MICE誘致には国の支援が不可欠になっている。
日本政府観光局・松山良一理事長と日本神経学会・水澤英洋代表理事が、日本が目指すべきMICE戦略について語り合った。

大型国際会議に対応する大都市の競争力を集中強化

松山　2017年世界神経学会の京都開催決定、おめでとうございます。東京五輪開催決定直後、神経学会を含め、4000人以上の大型国際会議の日本誘致が3つ立て続けに決まりました。日本に強い追い風が吹いていると実感しています。

水澤　ありがとうございます。最終プレゼンでは、安倍首相からの手紙で「国として取り組む」という姿勢を打ち出し、力強くアピールできました。

松山　政府が主体となってMICEに取り組む中国や韓国、シンガポールなどに比べ、日本は政府のバックアップ体制が弱いという印象は否めません。しかし、6月に閣議決定された「日本再興戦略」でもMICEの重要性が確認され、今後は国として積極的に取り組む考えです。

都市の誘致競争力強化の観点では、東京、横浜、京都、神戸、福岡を「グローバルMICE戦略都市」に指定し、海外専門家によるコンサルティングを集中的に実施しています。

水澤　全体の開催件数もさることながら、いかに大型の国際会議を誘致できるかがMICEビジネスの重要なところ。大型の国際会議を実際に開催できる都市に焦点を当てて、都市の競争力を強化する方針は有効だと思います。

松山　世界神経学会は各国のオピニオンリーダーが7000名も集まります。神経学会は様々な医学の専門領域を横断する立場でもあり、会員の影響力は非常に強い。一人ひとりが自国で日本の素晴らしさをアピールしてくれたら、その効果は計り知れません。観光の世界は口コミが原動力となりますから。

水澤　オピニオンリーダーは様々な会議に出席し、中小規模の都市を訪ねる機会も多い。そこでの体験が良好であれば、大きな会議の主催者側に将来なった場合に、日本でやりたい、あの市は無理でも近くの大都市でやりたい、となるのが自然な流れ。「グローバルMICE戦略都市」を強化し都市間の競争力を高めながら、その他の自治体との連携を深めていくことで大型案件の誘致も引き寄せることができるはず。政府には各自治体を啓発しながら、自治体間をつなぐパイプ役も担ってほしいと考えています。

ユニークベニューの強化 MICEアンバサダーの積極活動

松山　競争力強化の観点では、さらに文化施設や公共空間のユニークベニューとしての開発、利用促進に取り組み始め、海外の事例調査と都内の美術館、博物館へのアプローチを行っています。

水澤　20年ほど前、すでにフィラデルフィアの学会で博物館でのユニークベニューを体験しています。ミイラの横で食事するという忘れられない思い出でした（笑）。アピールの有力な武器になりますから、ぜひ力を入れるべきですね。

日本は文化遺産や文化施設の活用は苦手ですよね。同じ寺なのにエリアごとに料金が発生して、面倒かつお金がかかるという印象を与えるケースも少なくありません。各施設がサービスのあり方を見直す必要もあると思います。

松山　豊かな文化的資産とおもてなしの心をリンクできれば、間違いなく魅力的なコンテンツになるはずです。一方、チームジャパンの誘致体制の構築にも注力しています。代表的な施策が、世界のMICE先進都市で導入されている「MICEアンバサダープログラム」の採用。産業界・学術分野から、学会・協会に対して強い影響力を持つ方に国や都市の広報や国際会議の誘致活動を行ってもらうもので、水澤先生にも先日打診させていただきました。

水澤　MICEビジネスは人と人のつながりで動く側面が強いので、このプログラムは非常に効果的です。国際的な深く広いコミュニケーションの中でいかに一次情報をいち早く入手し、動き出すかが勝負です。

松山　コンベンション・ビューローやPCO（会議運営事業者）などにおいても、海外をベースにセールス活動ができる"顔"となる存在が不可欠。人材育成の支援にも力を入れていきたいと考えています。

水澤　日本は安定した実行力、時間の正確さ、財務面、ホスピタリティなど、他国が努力しても今だ追い付けないアドバンテージを豊富に備えています。

松山　その優位性を活かすために、人的資源の強化と連携、そして日本MICEの本当の国際化を推進していきます。

MICEシンポジウム2013

観光庁

開催日時： 2013年12月11日（水） 13:00〜15:30
会　　場： 東京国際フォーラム（第23回国際ミーティング・エキスポ［IME2013］会場内で実施）
対　　象： 国際会議等MICE主催者、他自治体等MICE関係者　**参加者数：** 150名（最大収容人数）

小宮山 宏
（株式会社三菱総合研究所 理事長）
化学工学、地球環境工学を専門とする工学博士。2005年に東京大学総長に就任。2009年より現職。著書に「日本「再創造」」（東洋経済新報社 2011年）ほか多数。

Gonzalo Perez Constanzó
（IAPCO会長／ケネス・インターナショナル社 ラテンアメリカ代表）
IMF・世界銀行でのコンベンション部門勤務を経て、現在はケネス・インターナショナル社（数多くの国際医学会のマネジメントを行う大手PCO）のラテンアメリカ代表。2011年4月よりIAPCO（国際PCO協会）の会長を務める。

プログラム

13:00-13:05	**「観光庁より挨拶」**　久保 成人（観光庁 長官）
13:05-13:35	**日本「再創造」〜国際会議とイノベーション〜** 小宮山 宏（三菱総合研究所 理事長）
13:35-14:20	**「国際会議のトレンド-世界における日本」** Mr. Gonzalo Perez Constanzó（IAPCO会長／ケネス・インターナショナル社 ラテンアメリカ代表）
14:30-15:30	パネルディスカッション**「国際会議と都市の成長戦略」** パネラー　Mr. Gonzalo Perez Constanzó（IAPCO会長／ケネス・インターナショナル社、ラテンアメリカ代表） Ms. Jane Vong Holmes（GainingEdge社、シニアアソシエイト） Ms. Anja Loetscher（ジュネーブ観光コンベンションビューロー、コンベンションビューロー部長） 川崎 悦子（日本政府観光局［JNTO］コンベンション誘致部マネージャー） モデレーター　Mr. Noor Ahmad Hamid（ICCAアジアパシフィック事務局長）

IAPCO: International Association of Professional Congress Organizers　ICCA: International Congress and Convention Association

● お申し込み／お問い合わせ先　http://expo.nikkeibp.co.jp/ime/2013/　Tel.03-5695-1111（土日祝を除く9:00 〜17:00）